

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 6年 8月 1日

事業所名 放課後等デイサービス 星の王子さま

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3		3	訓練室等スペースは法定基準を満たしているが、利用人数によってはやや狭く感じることもある。児童が楽しんで過ごせるように、限られた空間の中での環境整備に努めていく。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	1		職員の配置基準は満たしているが、加配職員の増員を検討していく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	3	1	手すりなどはないが、室内の段差をスロープにしている。適宜児童に応じた安全性の確認を行い、今後検討改善していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	2		定期的にケース会議などを行い、全体での共通理解を図り一貫性のある支援を心がけている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1		年に一度保護者向けアンケートを実施し、集計後職員間で共有し、業務改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			アンケート結果は書面配布とホームページで公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	3		第三者による外部評価は行っていない。今後必要に応じて検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			今年度は、地域の専門アドバイザーの方をお呼びして法人内研修を行った。外部研修にも積極的に参加している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1		計画更新の都度、保護者と面談を行いニーズに沿って計画作成をしている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2		標準化されたアセスメントツールの導入を検討していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2		職員会議の中で活動プログラムを立案し、協議実施している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	2		新しいプログラムと長期的に取り組んでいくプログラムとを、児童の様子を見ながら取り入れている。今後も児童の状況把握を行い、興味をもって取り組めるようなプログラムを考えていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	2		平日と長期休暇とでプログラムは変えている。長期休暇中は平日にできない活動や行事を主に取り入れている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1		児童の発達状況と保護者のニーズをすり合わせて計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			支援開始前に個々に合わせた支援内容や送迎予定など打ち合わせを行い、情報共有を図っている。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	5		緊急性のある事案についてはその日のうちに職員から報告を受け、迅速に対応している。情報共有に努めている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1		支援記録を毎日行っている。現状把握や支援方法の検証改善は業務前の打ち合わせやケース会議でも行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4	2		ガイドラインの総則を踏まえたうえで、バランスの良い活動機会を設け、支援している。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	5		現在医療的ケアを必要とする児童はいないが、受け入れの際には体制を整える。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	5		保護者の要望に応じて、就学前に利用していた施設での記録等の共有に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	3		障害福祉サービス事業所等からの問い合わせは今年度はなかった。情報を求められたら保護者の了承のもと情報提供を行っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3		相談員の方には面談時に同席していただいている。今年度は相談支援センター主催の研修にも参加する予定。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	4	児童クラブとの交流はないが、外出時に公園を利用する場合などに地域の児童と交流することはある。今後、交流の機会を検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	4		管理者が出席している。協議会の内容を職員に回覧、共有している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	1		家庭生活を安定充実させられるように、保護者に具体的に相談援助を行っている。
関係機関や保護者との連携	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			
保護者への説明	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			相談事を聞き、適切なサポートを心がけている。今後も保護者に寄り添い助言と支援を行う。

責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	3		星の王子さま2と合同で家族が参加できるイベントを開催し、保護者同士のつながりの場を設けている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1		苦情があった場合には迅速に対応し、適切な問題解決に努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			
	35	個人情報に十分注意しているか	6			契約時に個人情報の取り扱いについて説明するとともに、契約後は個人ファイル、写真等の取り扱いに注意している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2	3	地域との交流の方法や機会について検討し、開かれた事業所運営に努める。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			火災・地震の発生を想定し、半年に一度避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	1		現在、身体拘束に当たる事案はないが、必要とされる場合には身体的拘束適正化のための指針に則って対応していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2		指示書の提出は求めているが、アレルギーの有無を契約時に必ず聞き取り、フェイスシートに記入をし、職員間で情報共有を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			ヒヤリハット報告書を作成し、職員間で共有し、再発防止に努めている。